

災害の発生によって大規模な被害が生じた場合、できるだけ早く今まで通りの暮らしをとりもどしたいというのが、私たち市民の切実な願いとなります。このように、できるだけ早く、しかもより安全で快適なまちの復興をとげるには、事前の準備が不可欠です。

このため、静岡市では、自分たちの住むまちに潜む災害危険性を点検するとともに、災害後の復興にいたる手順をあらかじめ体験することで、スムーズな復興まちづくりを実現するための準備の一環として、有東坂今泉一区・二区をモデル地区としたワークショップを次の日程で実施することとしました。

※この通信は、実際に災害が発生した後の復興時を想定した訓練の一環として、住民の取組内容に関わる情報を発信・共有するために作成するものです。



災害発生



速やかな復興



安全・快適なまち



事前の準備を！

### ☆有東坂地区復興まちづくり検討ワークショップの開催日程

	目的	時期	概要
1	■復興まちづくりの必要性や手順を知り、理解する	10月1日	①ワークショップの趣旨説明 ②被害拡大プロセスと地域の潜在的な災害リスクの説明 ③復興まちづくりについて事例紹介と役割・手順の説明 ④生活再建意向調査の実施
2	■まち歩きを通じて地域の災害危険性を点検する。 ■地域の防災上の課題と復興まちづくりを進める上での課題をまとめる	12月13日	①第1回ワークショップの報告 ②まち歩きの実施 ③課題マップの作成 ④生活再建に向けた課題の整理
3	■「復興まちづくり提案」を作成し、復興まちづくりの方向性を共有する	2月初旬	①第2回ワークショップの報告 ②復興まちづくり提案の作成 ③発表会の開催

## 第1回ワークショップを開催しました！

平成26年10月1日に第1回のワークショップ(以下、「WS」)を右記のプログラムで実施しました。

当日は、2町内の住民の方々や静岡県技術士協会の技術士4名の方に参加いただきました。

ワークショップでは、復興まちづくりに考え方や必要性、災害が起こった際に被害が拡大していくプロセス・経過などを確認し合いました。

その後、4つのグループに分かれ、「地域の防災のために知っておきたい情報」や「地域の防災上の課題」、「防災・復興に役立てそうな場所」をテーマに話し合い、最後にグループ発表を行って、住民のみなさんの思いや意見を共有しました。

開催日時：平成26年10月1日(水)  
19時～21時

開催場所：有東坂今泉一区自治会館

### 当日のプログラム

- 復興まちづくりWSについて
- 被害が拡大するプロセスについて
- グループワーク
  - ①防災のために知っておきたい情報
  - ②地域の防災上の課題/役立てそうな場所の整理
  - ③発表(意見の共有)
- まとめ

## 当日意見をご紹介します！（ワークショップのまとめ）

### ■地域の防災のために知っておきたい情報について

- ・避難する場所
- ・地震時に塞がりそうな道路の場所
- ・消火栓の場所 など

### ■地域の防災上の課題について

#### <全体的な課題>

- ・古い家が多く、延焼や倒壊して被害が拡大しないか心配
- ・道路が狭く、緊急車両の通行や安全な避難ができるか心配 など

#### <個別の課題>

- ①ブロック塀や建物などが倒れて安全に避難できるか心配な場所
- ②山崩れなどが心配な場所
- ③土地が低く、豪雨時の浸水が心配される場所 など

### ■防災・復興に役立てそうな場所について

- ・火災時の消火用に利用できる池
- ・避難時に集まれる場所 など



ワークショップの様子



グループワークの様子



発表の様子

「起こってからでは遅い。私たちが主体となって備えなければ」というご意見をいただくなど、危機意識を共有できた、実り多いWSとなりました。

## 第2回は「まち歩き」で地域の防災・復興上の課題を点検します！

次回の第2回は、第3回に作成する「復興まちづくり提案」に向け、「まち歩き」を通じて、地域の防災・復興を進める上での課題を点検し、これらを「課題マップ」にとりまとめます。

※第2回ワークショップは12月13日(土)に実施しました。その模様は「有東坂地区復興まちづくり通信 Vol.2」で改めてお知らせします。



### ◇お問い合わせ先◇

静岡市 都市局 都市計画部 都市計画課 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

Tel.054-221-1406 Fax.054-221-1117